

令和4年11月2日

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの 同時流行に備えた外来医療体制等の整備

静岡県健康福祉部感染症対策局

今冬の感染拡大想定

今冬においては、**新型コロナ**が今夏を上回る**感染拡大**を生じる可能性があり、
加えて、**インフルエンザ**も**流行**し、**多数の発熱患者が同時発生**する可能性あり

○ 今冬の感染拡大想定（ピーク時）

		新型コロナ	インフルエンザ	計
国 想 定	想 定	今夏の沖縄県と同規模	直近5年の最大値 (2018/2019シーズン)並	—
	全 国	45万人/日	30万人/日	75万人/日
	本 県	12,600人/日	12,400人/日	25,000人/日
本県(コロナは今夏ピーク)		8,000人/日	12,400人/日	20,400人/日

うち医療機関受診者
⇒ **24,300人/日**(※)

※ 医療機関受診者想定の考え方

- ・発熱等患者のうち、65歳以上及び12歳以下は全員受診
- ・13歳～64歳は、8.9%(発生届限定化の実績値)が自己検査を実施 →ピーク時の自己検査者1,360人/日
- ・自己検査者のうち、コロナ陽性者(自己検査者の約5割)は軽症であるとして、受診せず
自宅で療養 → ピーク時約700人/日

(感染者)	(受診せず自宅療養する発熱者)	(医療機関受診者)
25,000人/日	—	700人/日
		= 24,300人/日

新型コロナ・インフル同時流行期の診療体制(案)

Ⅲ 検査体制整備

● 検査キットの無料配布

対象：有症状者、濃厚接触者
配布場所等：市町（窓口配布、郵送）、医療機関等

● 自主療養受付

自主検査の結果により、医師が「陽性者」と診断
想定：コロナ患者の約9%

(電話・オンライン診療)

● 療養者支援センター

- ・食糧支援受付
- ・パルスオキシメーター貸出等

郵送等で薬を交付

検査結果等を登録

症状が軽い



陽性

陰性

症状が重い

医療機関を受診

Ⅱ 外来医療体制の整備

- 急患センター（日祝・夜間）
- 発熱専門診療（日祝）
- スクリーニングセンター



インフル
コロナ検査

その他

インフル

コロナ

症状に応じて薬を交付

● 医療機関



インフル
コロナ検査

コロナ

インフル

その他



65歳以上の者
要入院患者
重症化リスク有の
治療薬適用者
又は
要酸素投与
妊婦

「発生届」
保健所の提出対象

● キット販売



事前購入

I 予防と備え

県民に対する
県の呼び掛け

- ・ワクチンの流行前接種
- ・検査キット、解熱剤の事前購入
- ・適切な受診



受診希望なし

中学生～
64歳
約15,200人

受診希望あり

推計される熱発者
最大25,000人/日

高齢者
約3,100人



小学生以下
約6,700人



コロナ

インフル

その他

確定前

同時流行に備えた主な対策

I 予防と備え

- ・ コロナワクチン及びインフルワクチンの接種勧奨
- ・ 解熱剤や検査キット等の事前や休日夜間等の適切な受診を県民に呼びかけ
- ・ 学校・企業等に、罹患証明・治癒証明、検査結果等を求めないよう周知

II 外来診療体制の拡充

- ① ベースの診療体制の拡充等
- ② 日曜・祝日等（特に年末年始）の診療体制の拡充

III 検査体制の整備

- ・ 症状が軽い人等にコロナ検査キットを配布し、自己検査を実施

IV 高齢者施設等の対応強化

V コロナ・インフル患者の入院医療体制の整備（次回協議）

- ・ 現在、各病院に今冬の確保可能病床数等を調査中
- ・ 11月中旬以降に国から病床確保等に関する方針発出予定